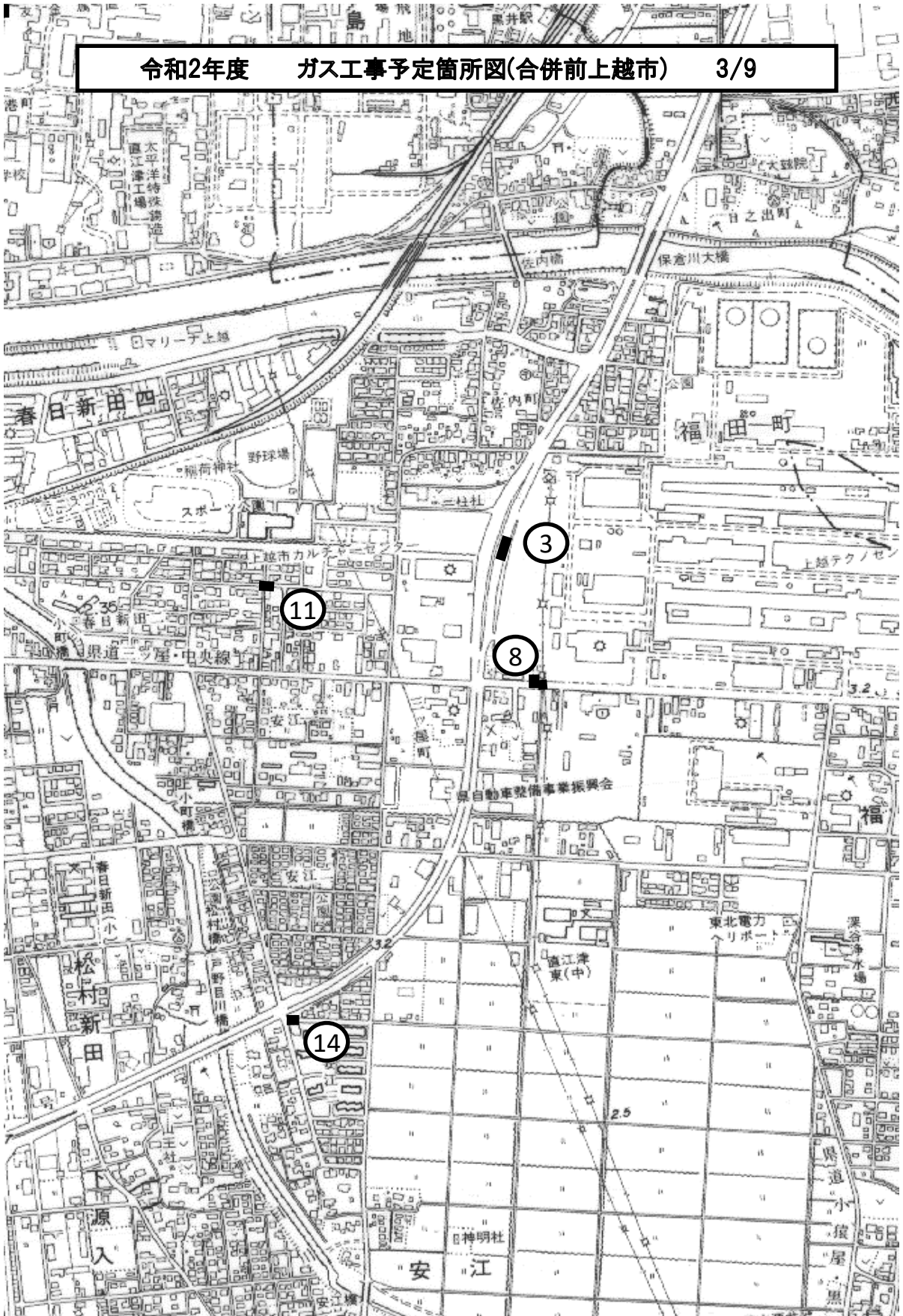
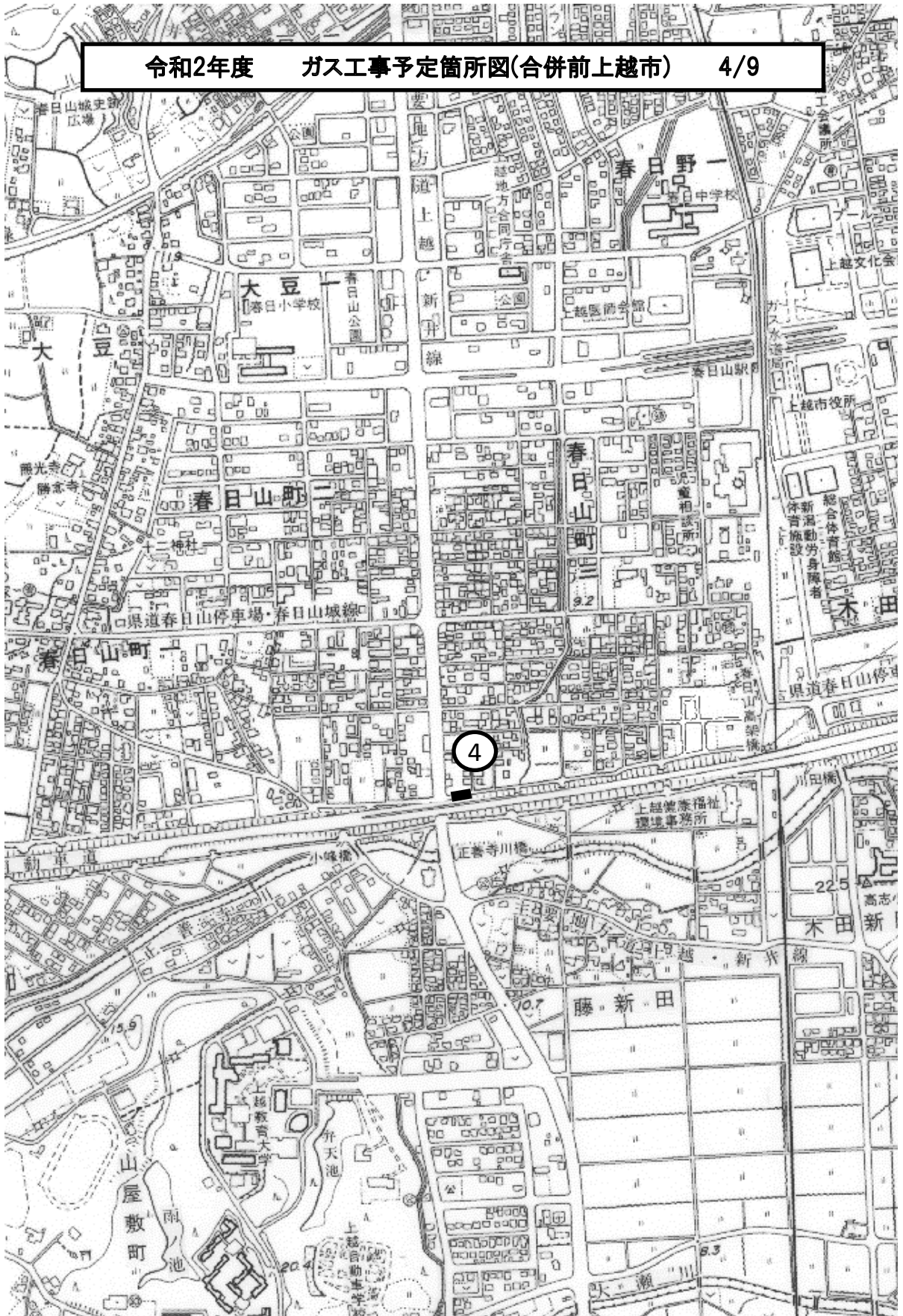


令和2年度 ガス工事予定箇所図(合併前上越市) 3/9

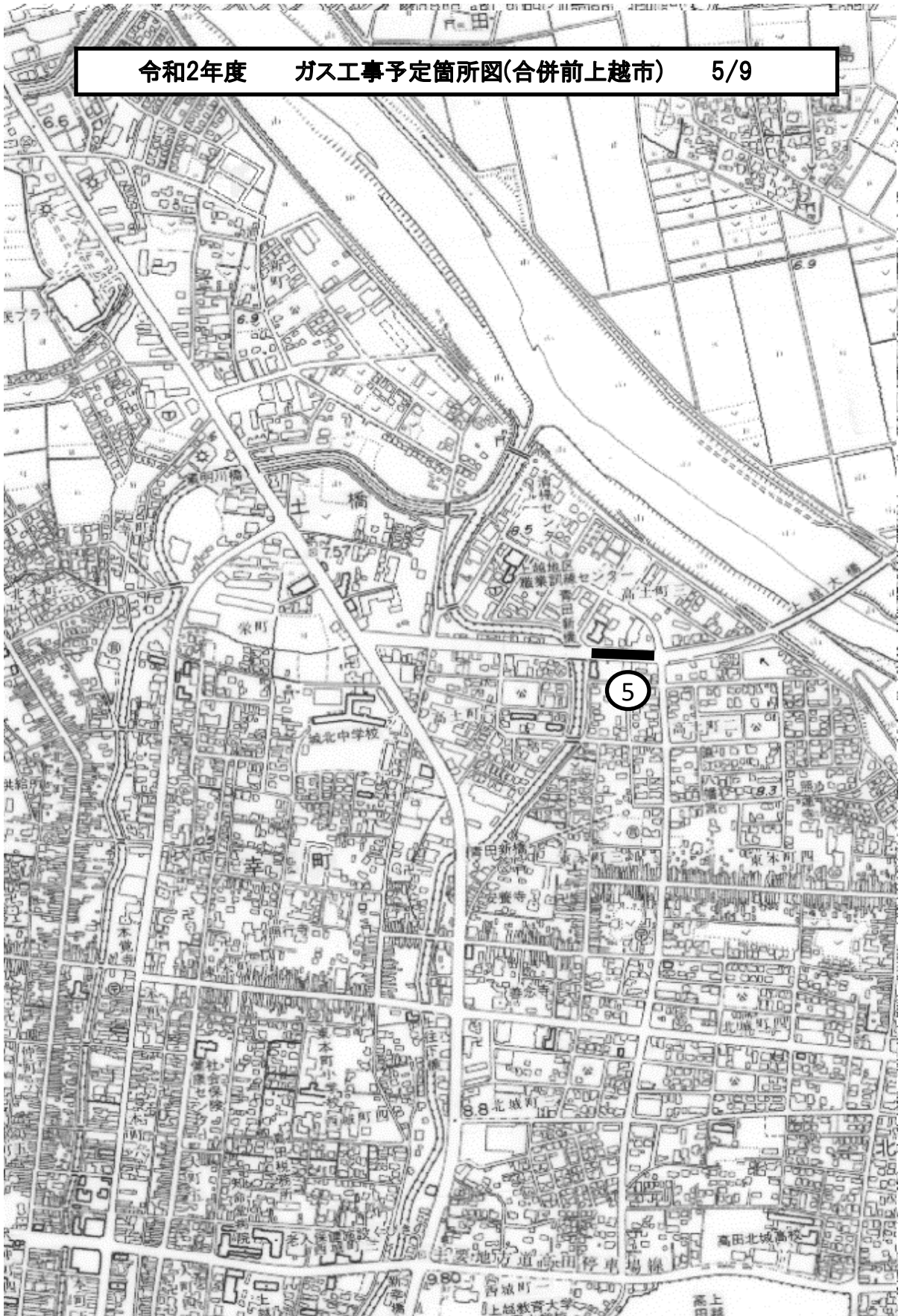




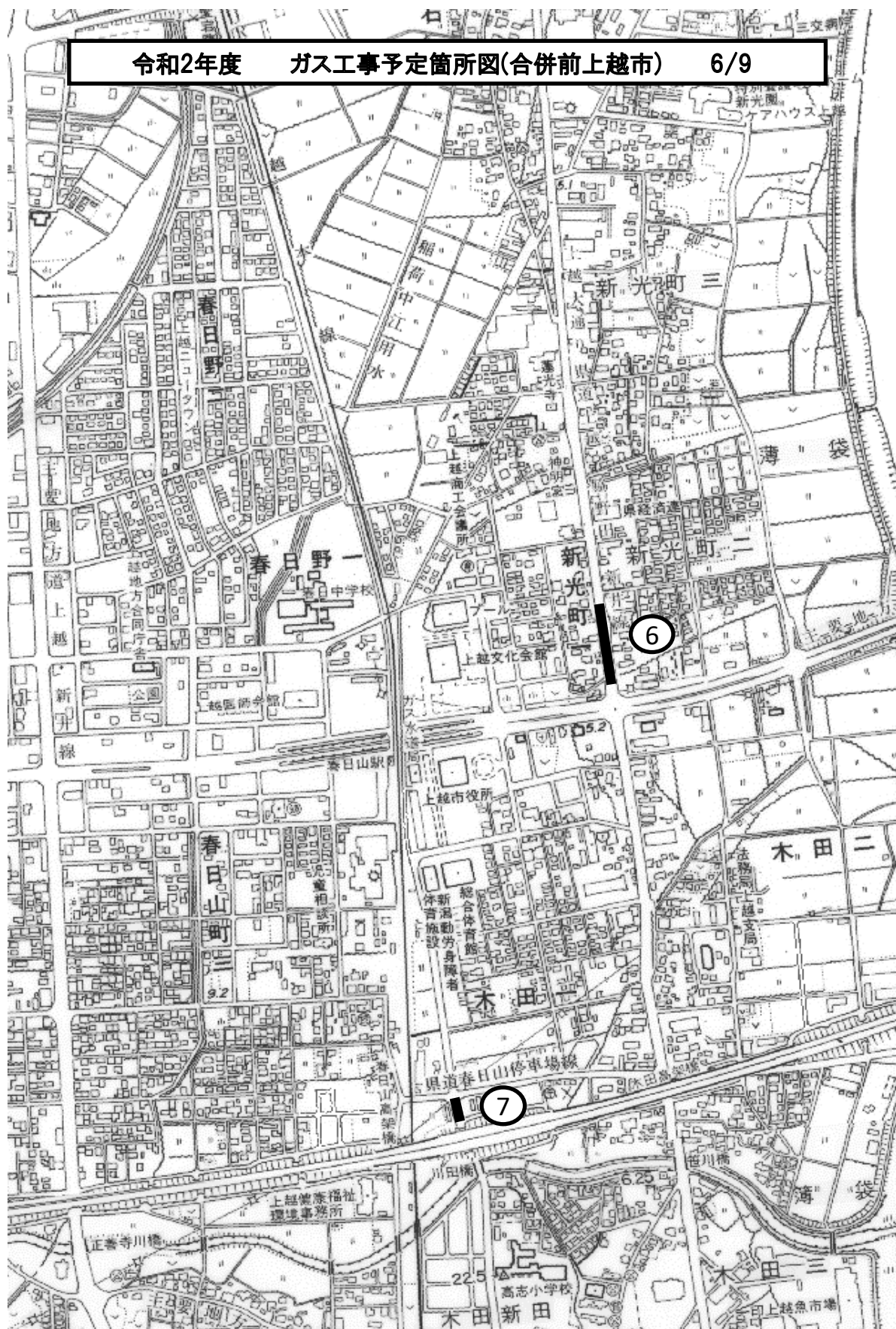
令和2年度

ガス工事予定箇所図(合併前上越市)

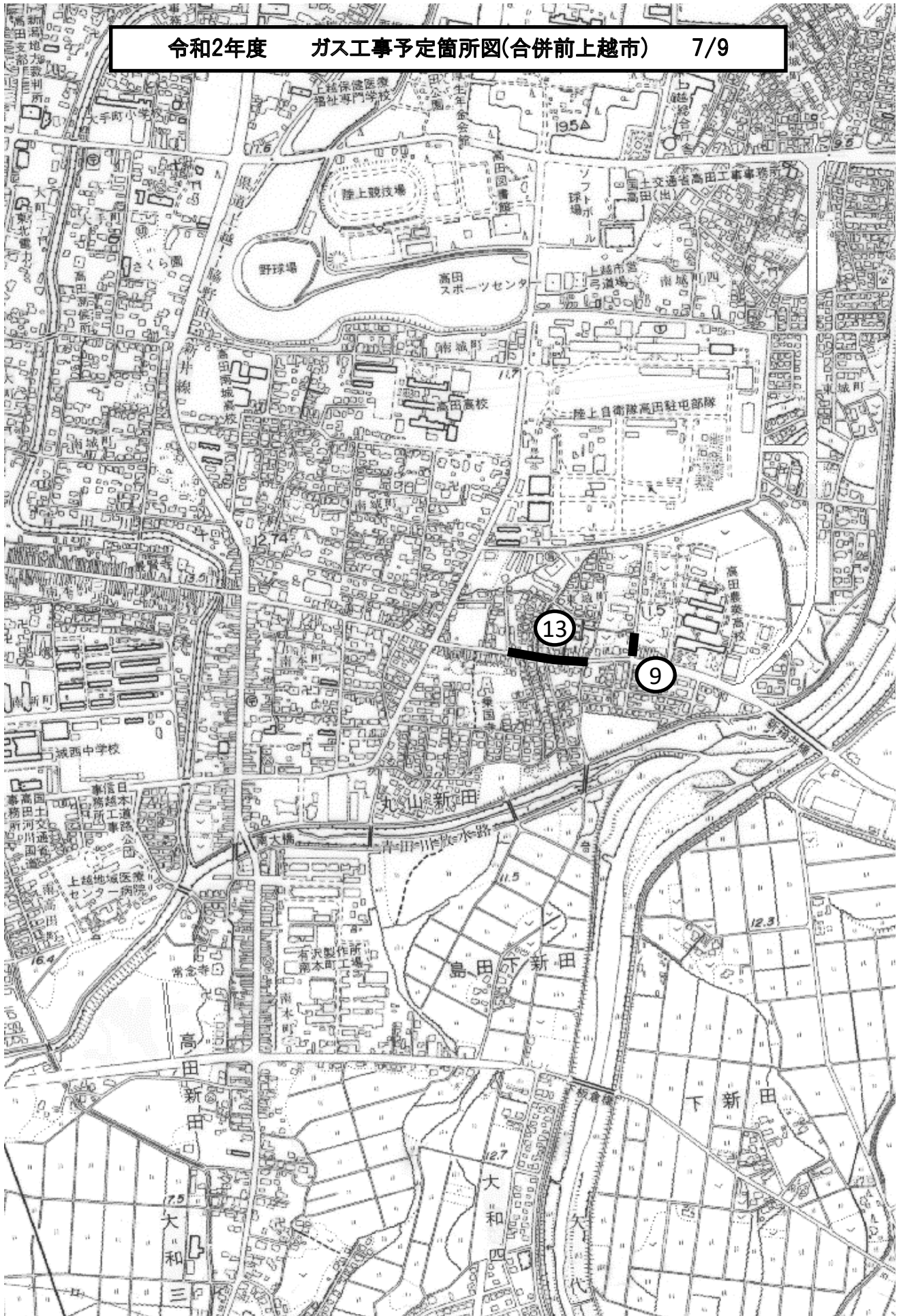
5/9



令和2年度 ガス工事予定箇所図(合併前上越市) 6/9

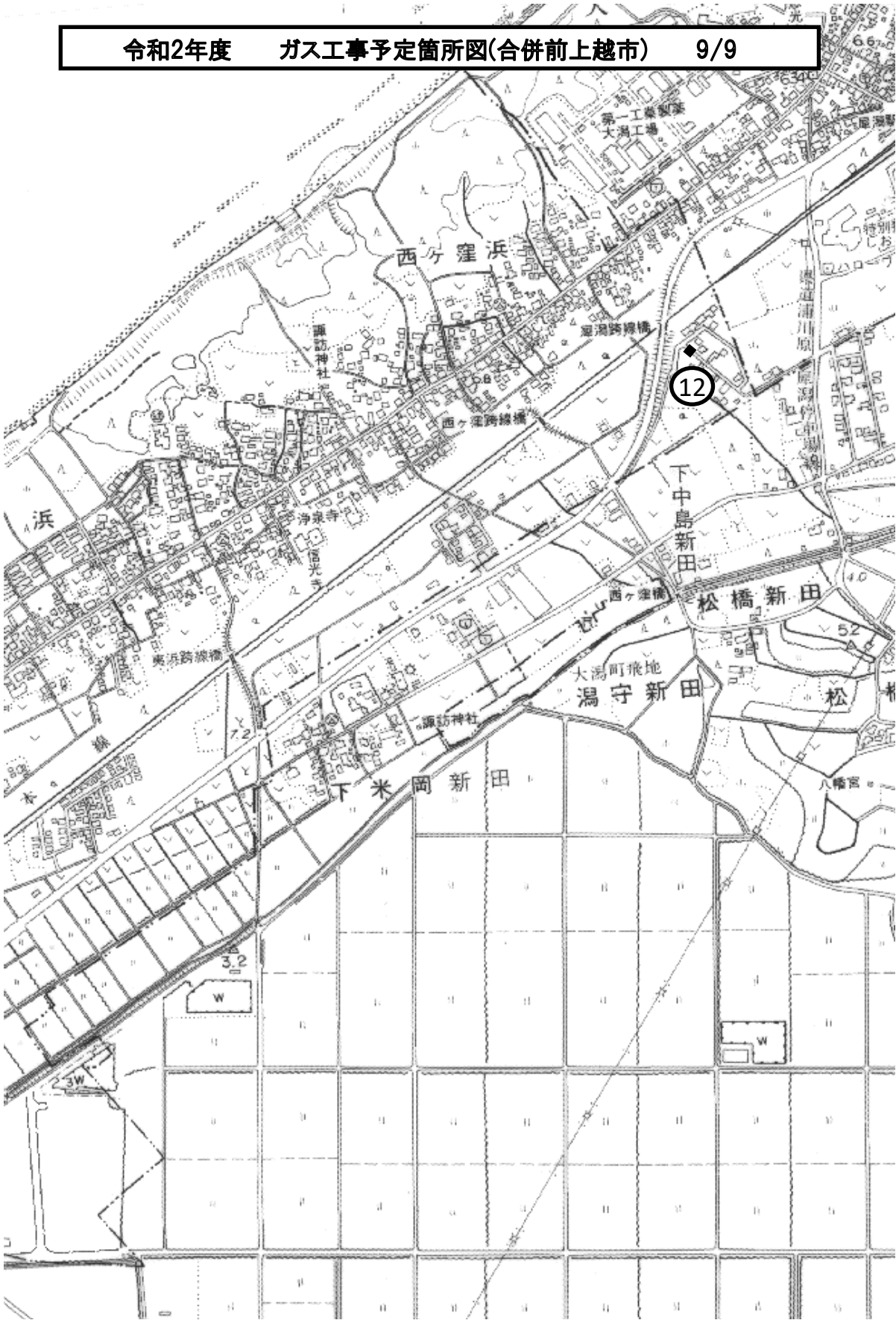


令和2年度 ガス工事予定箇所図(合併前上越市) 7/9

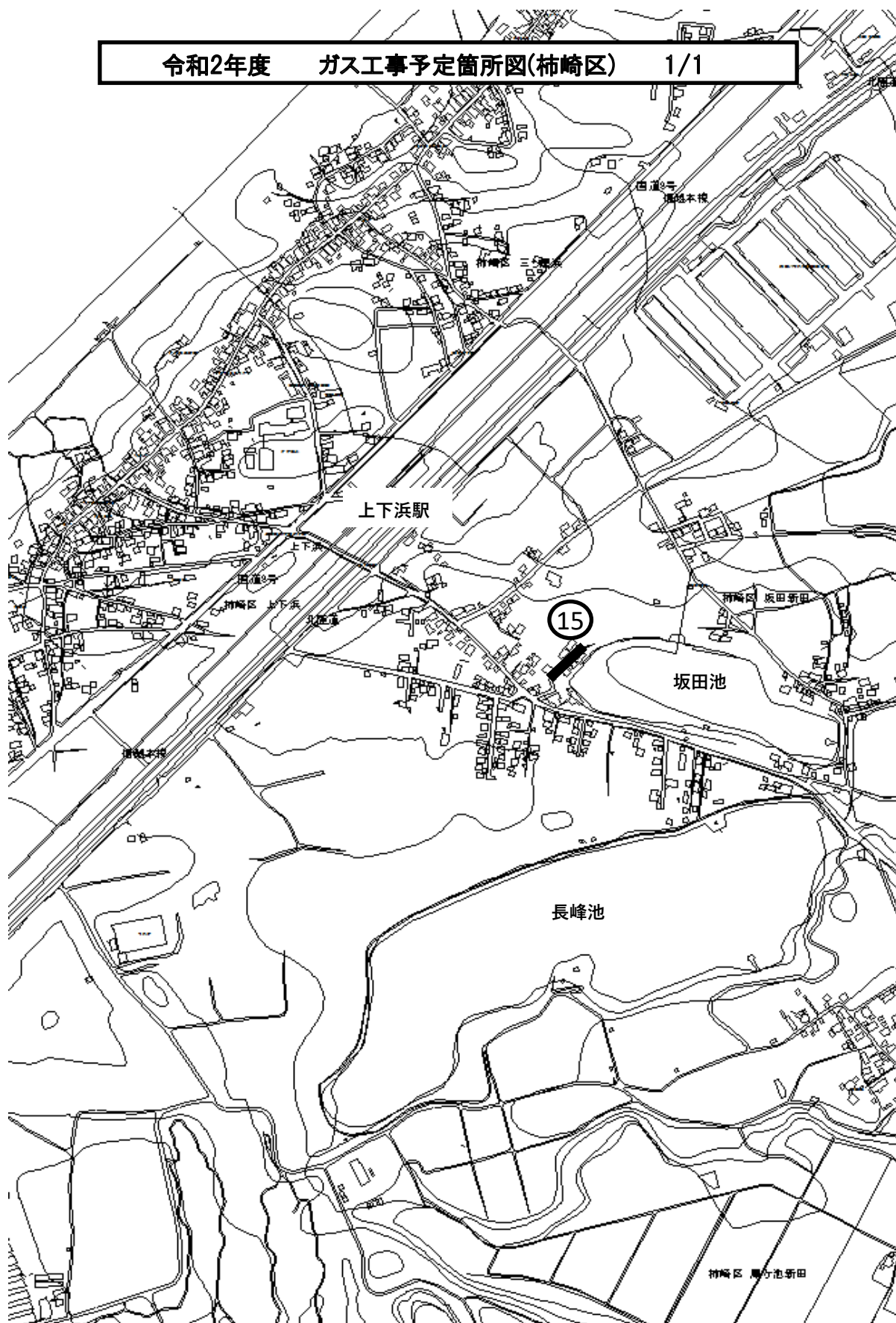




令和2年度 ガス工事予定箇所図(合併前上越市) 9/9



令和2年度 ガス工事予定箇所図(柿崎区) 1/1



所管委員会	農政建設常任委員会
関係案件	議案第10号
提出課	総務課

令和2年度上越市水道事業会計予算の概要

ポイント

- ・第2次水道事業中期経営計画に基づき予算編成を行った。
- ・給水量は、過去の使用実績や今後の需要見込みを口径ごとに推計し、前年度給水量に比べ151,202m³（0.7%）減の21,935,175m³とした。
- ・給水収益は、給水量の減少を見込む一方、令和元年10月からの消費税率改定の影響により、前年度に比べ1,226万円（0.2%）増の51億4,412万円を見込み、当年度純利益は9億9,168万円を予定。
- ・建設改良費は、前年度に比べ3億7,620万円（13.2%）増の総額32億1,769万円を計上し、経年管の更新を進めるとともに、深谷浄水場ろ過施設増強工事など施設の改修により、水道の安定供給を図る。
- ・基幹管路耐震化事業では、大口径管路を優先的に実施し、令和2年度末における基幹管路耐震適合率は、36.7%を見込む。
- ・城山浄水場の大規模改修に向け、基本設計業務委託費を計上。
- ・前年度に引き続き、ガス水道局庁舎新築工事費を計上（工期：令和元年度～2年度）。

1 業務の概要

単位：戸、m³、%

区分	令和元年度		令和2年度	増減率	
	当初予算	補正後予算	当初予算	当初予算	補正後予算
給水戸数（調定件数）	85,331	85,331	85,789	0.5	0.5
年間給水量	22,086,377	22,086,377	21,935,175	△0.7	△0.7
一日平均給水量	60,345	60,345	60,096	△0.4	△0.4
用水供給量	755,973	755,973	753,907	△0.3	△0.3
一日平均給水量	2,065	2,065	2,065	0.0	0.0

2 予算の概要

(1) 収益的収支の状況

単位：千円、%

区 分		令和元年度		令和2年度	増 減 率		
		当初予算	補正後予算	当初予算	当初予算	補正後予算	
収	営 業 収 益	5,131,864	5,131,864	5,144,129	0.2	0.2	
	給 水 収 益	5,131,864	5,131,864	5,144,129	0.2	0.2	
	営 業 雑 収 益	14,869	14,869	11,992	△ 19.3	△ 19.3	
	営 業 外 収 益	1,633,837	1,633,837	1,543,077	△ 5.6	△ 5.6	
	繰 入 金	127,698	127,698	60,724	△ 52.4	△ 52.4	
	長期前受金戻入	1,075,549	1,075,549	1,065,872	△ 0.9	△ 0.9	
	広 域 施 設 営 業 外 収 益	251,524	251,524	262,023	4.2	4.2	
	そ の 他	179,066	179,066	154,458	△ 13.7	△ 13.7	
	入	用 水 供 給 事 業 収 益	95,848	95,848	96,960	1.2	1.2
		用 水 供 給 営 業 収 益	81,775	81,775	82,300	0.6	0.6
	用 水 供 給 営 業 外 収 益	14,073	14,073	14,660	4.2	4.2	
収 入 計		6,876,418	6,876,418	6,796,158	△ 1.2	△ 1.2	
支	営 業 費 用	5,029,731	5,032,403	5,085,224	1.1	1.0	
	職 員 給 与 費	533,419	531,990	535,703	0.4	0.7	
	薬 品 費	20,287	20,287	22,046	8.7	8.7	
	修 繕 費	244,328	244,328	248,433	1.7	1.7	
	動 力 費	96,771	96,771	97,585	0.8	0.8	
	委 託 料	289,332	289,332	316,291	9.3	9.3	
	共 同 施 設 管 理 分 担 費	64,610	64,610	70,148	8.6	8.6	
	減 価 償 却 費	2,285,969	2,285,969	2,309,407	1.0	1.0	
	広 域 施 設 営 業 費 用	1,134,452	1,138,418	1,098,524	△ 3.2	△ 3.5	
	そ の 他	360,563	360,698	387,087	7.4	7.3	
出	営 業 雑 費 用	10,246	10,452	10,099	△ 1.4	△ 3.4	
	営 業 外 費 用	466,967	466,821	433,606	△ 7.1	△ 7.1	
	支 払 利 息	255,050	255,050	235,683	△ 7.6	△ 7.6	
	雑 支 出	123	123	124	0.8	0.8	
	消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	170,549	170,403	160,895	△ 5.7	△ 5.6	
	広 域 施 設 営 業 外 費 用	41,245	41,245	36,904	△ 10.5	△ 10.5	
	用 水 供 給 事 業 費 用	65,903	66,123	63,651	△ 3.4	△ 3.7	
	用 水 供 給 営 業 費 用	63,593	63,813	61,579	△ 3.2	△ 3.5	
	用 水 供 給 営 業 外 費 用	2,310	2,310	2,067	△ 10.5	△ 10.5	
	用 水 供 給 特 別 損 失	0	0	5	皆増	皆増	
特 別 損 失 等	1,327	1,327	1,081	△ 18.5	△ 18.5		
支 出 計		5,574,174	5,577,126	5,593,661	0.3	0.3	
収 支 差 引 (純 利 益)		1,302,244	1,299,292	1,202,497			
(うち、用水供給分純利益)		(1,133,947)	(1,130,820)	(991,685)			
		(24,502)	(24,282)	(27,346)			

(2) 資本的収支の状況

単位：千円、%

区 分	令和元年度		令和2年度	増 減 率		
	当初予算	補正後予算	当初予算	当初予算	補正後予算	
収 入	企 業 債	200,000	200,000	200,000	0.0	0.0
	補 助 金	230,855	230,855	199,289	△ 13.7	△ 13.7
	補 助 金	230,855	230,855	199,289	△ 13.7	△ 13.7
	工 事 負 担 金	557,995	561,807	396,013	△ 29.0	△ 29.5
	工 事 負 担 金	557,995	561,807	396,013	△ 29.0	△ 29.5
	繰 入 金	110,705	110,705	112,903	2.0	2.0
	繰 入 金	108,423	108,423	112,903	4.1	4.1
	広 域 施 設 繰 入 金	2,282	2,282	0	皆減	皆減
	固定資産売却収入	0	0	110,256	皆増	皆増
	用水供給資本的収入	128	128	0	皆減	皆減
用 水 供 給 繰 入 金	128	128	0	皆減	皆減	
収 入 計	1,099,683	1,103,495	1,018,461	△ 7.4	△ 7.7	
支 出	建 設 改 良 費	2,841,303	2,836,340	3,217,278	13.2	13.4
	土 地	1,992	1,992	8,334	318.4	318.4
	建 物	164,945	164,945	509,040	208.6	208.6
	構 築 物	14,025	14,025	44,678	218.6	218.6
	機 械 装 置	260,735	260,735	113,050	△ 56.6	△ 56.6
	水道メーター	4,946	4,946	4,398	△ 11.1	△ 11.1
	導 管 本 支 管	2,177,736	2,175,154	2,358,722	8.3	8.4
	導 管 給 水 管	169,597	167,216	136,645	△ 19.4	△ 18.3
	導 水 管	6,210	6,210	10,956	76.4	76.4
	広 域 施 設 設 備	3,289	3,289	7,465	127.0	127.0
	そ の 他	37,828	37,828	23,990	△ 36.6	△ 36.6
	企 業 債 償 還 金	1,090,778	1,090,778	1,111,912	1.9	1.9
	企 業 債 償 還 金	903,402	903,402	920,205	1.9	1.9
広 域 施 設 企 業 債 償 還 金	187,376	187,376	191,707	2.3	2.3	
用水供給資本的支出	10,673	10,673	11,150	4.5	4.5	
用 水 供 給 建 設 改 良 費	185	185	419	126.5	126.5	
用 水 供 給 企 業 債 償 還 金	10,488	10,488	10,731	2.3	2.3	
支 出 計	3,942,754	3,937,791	4,340,340	10.1	10.2	
差 引 不 足 額	2,843,071	2,834,296	3,321,879			
上 記 財 源 内 訳	損 益 勘 定 留 保 資 金 等	2,089,071	2,087,296	2,074,879		
	積 立 金	754,000	747,000	1,247,000		
	計	2,843,071	2,834,296	3,321,879		

収益的収支

収入：67億9,615万円

水道料金収入 51億4,412万円
用水供給料金収入 8,230万円
長期前受金戻入 13億4,091万円
その他の収入 2億2,881万円

支出：55億9,366万円

人件費 6億2,467万円
修繕費 3億80万円
動力・薬品費 1億9,052万円
委託料など 11億2,328万円
支払利息 2億7,459万円
減価償却費 30億7,977万円
△長期前受金戻入
収支差引額（利益） 12億249万円 (9億9,168万円)

資本的収支

収入：10億1,846万円

企業債 2億円
補助金 1億9,928万円
工事負担金 3億9,601万円
固定資産売却収入 1億1,025万円
その他の収入 1億1,290万円
収支不足額 33億2,187万円

支出：43億4,034万円

建設改良費 32億1,727万円
企業債償還金 11億1,191万円
用水供給資本的支出 1,115万円

留保資金等 補填財源 ※減価償却費及び利益から 長期前受金戻入を除いた額

減価償却費等の損益勘定留保資金と積立金等で補填します。

3 収益的収支

(1) 収益的収入

単位：千円

項目	本年度	前年度	比較
給水収益 (料金収入)	5,144,129	5,131,864	12,265

○予定年度末給水戸数 85,789 戸

令和元年度予定給水戸数85,331戸に対し、458戸(0.5%)増加の見込み。

○予定年間給水量 21,935,175 m³

- ・令和元年度予定年間給水量22,086,377m³に対し、151,202m³(0.7%)減少の見込み。
- ・人口減少が顕著に影響する13mm及び20mmの小口径の給水量は、推計給水人口に1人当たり給水量を乗じて算出。13mmの給水量の増加は、集合住宅で13mmが主流となっていることから、近年の傾向に準拠し推計したため。
- ・25mm以上の中口径及び大口径の給水量は、人口減少の影響を受けにくいいため、直近5年間の平均給水量から算出。

○給水収益

口径ごとの予定年間給水量に販売単価を乗じて算出。

単位：m³

口径	本年度	前年度	比較
13mm	7,615,504	7,487,971	127,533
20mm	8,768,770	8,858,640	△ 89,870
25mm	886,741	875,495	11,246
30mm	450,731	456,875	△ 6,144
40mm	1,169,042	1,228,580	△ 59,538
50mm	1,001,648	1,066,722	△ 65,074
75mm	1,803,415	1,658,095	145,320
100mm	62,596	210,618	△ 148,022
150mm	176,728	243,381	△ 66,653
合計	21,935,175	22,086,377	△ 151,202

単位：千円

項 目	本 年 度	前 年 度	比 較
営 業 雑 収 益	11,992	14,869	△ 2,877

○その他営業雑収益

新設・その他で1,732件の設計審査手数料を予定。

単位：千円

項 目	本 年 度	前 年 度	比 較
繰 入 金	60,724	127,698	△ 66,974

○高料金対策等一般会計繰入金 53,361 千円

資本費の増加により料金の高水準化を防ぐための繰入金など。

合併算定替の適用期間が終了し、旧町村単位から市全体での算定となったため減少。

○職員の児童手当に係る一般会計負担金 7,363 千円

3歳に満たない児童に係る給付に要する経費の15分の8及び3歳以上中学校修了前の児童に係る給付に要する経費等の合計額。

単位：千円

項 目	本 年 度	前 年 度	比 較
長 期 前 受 金 戻 入	1,065,872	1,075,549	△ 9,677

○長期前受金戻入

現金収入を伴わない収益で、長期前受金に対する令和2年度分の収益化額。

※長期前受金・・・資産取得のために交付された国庫補助金又は一般会計からの繰入金などの財源。

財 源	本 年 度	前 年 度	比 較
補 助 金	208,045	205,220	2,825
工 事 負 担 金	706,748	707,219	△ 471
受 贈 財 産 評 価 額	15,632	17,786	△ 2,154
繰 入 金	135,249	145,126	△ 9,877
寄 附 金	198	198	0
合 計	1,065,872	1,075,549	△ 9,677

単位：千円

項 目	本 年 度	前 年 度	比 較
広域施設営業外収益	262,023	251,524	10,499

○繰入金 710 千円

職員の児童手当に係る一般会計負担金。

○長期前受金戻入 260,470 千円

現金収入を伴わない収益で、長期前受金に対する令和2年度分の広域施設分収益化額。

○雑収益 843 千円

単位：千円

項 目	本 年 度	前 年 度	比 較
そ の 他	154,458	179,066	△ 24,608

○受取利息 3,656 千円

資金運用による定期預金利息及び貸付金利息。

○加入金 56,671 千円

新設及び口径変更による加入金。

○雑収益 94,131 千円

下水道受託収益及び補償修繕収益など。

単位：千円

項 目	本 年 度	前 年 度	比 較
用水供給営業収益 (料金収入)	82,300	81,775	525

○予定年間給水量 753,907 m³

妙高市との契約水量から算出。

単位：千円

項 目	本 年 度	前 年 度	比 較
用水供給営業外収益	14,660	14,073	587

○繰入金 39 千円

職員の児童手当に係る一般会計負担金。

○長期前受金戻入 14,576 千円

現金収入を伴わない収益で、長期前受金に対する令和2年度分の用水供給分収益化額。

○雑収益 45 千円

(2) 収益的支出 (中期経営計画主要事業は事業名に◎印)

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
浄水場運転管理業務	334,541	326,007	8,534
経費内訳			
報酬	2,396	光熱燃料費	4,548
法定福利費	224	通信運搬費	8,208
備用品費	5,469	委託料	198,593
旅費交通費	35	手数料	2,235
動力費	76,342	薬品費	36,491
【目的】			
安定給水を継続するため、浄水場の適正な運転管理を行う。			
【概要】			
浄水処理量や水源水質に対応した薬品管理、配水運用の見直しなど、適正かつ効率的な運転管理により、安全で安定した水づくりを行うとともに経費の削減に努める。			
<主な費用>			
報酬	会計年度任用職員 1人		1,275 千円
動力費	各水源及び浄水場動力費		76,342 千円
委託料	浄水場運転管理業務委託		186,295 千円
	電気保安業務委託		3,467 千円
薬品費	次亜塩素酸ナトリウム等購入費		36,491 千円

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
浄水施設維持管理業務	148,601	121,885	26,716

経費内訳

備用品費	199	委託料	10,637
修繕費	80,558	手数料	836
光熱燃料費	846	租税課金	33
賃借料	393	雑費	14,677
保険料	2,336	固定資産除却費	38,060
通信運搬費	26		

【目的】

設備の点検整備を計画的に行うことで施設の長寿命化を図る。

【概要】

故障履歴、運転時間、設置環境を考慮し適切な時期に点検整備を行い、設備の長寿命化を図る。令和2年度は浄水施設に係る修繕費が増加することから、前年度に比べ事業費が増加。

<主な費用>

修繕費	城山浄水場濃縮槽引抜ストレーナ交換工事	2,552 千円
	法花寺浄水場No. 2配水池内面防水工事	7,456 千円
	不動浄水場導水管路修繕工事	7,699 千円
	柿崎川浄水場ワンループコントローラ取替工事	8,669 千円
	浄水場設備等緊急修繕	46,119 千円
委託料	浄水施設維持管理業務委託	10,637 千円
雑費	横畑頭首工管理道路整備負担金	6,651 千円
	水源かん養助成金	5,000 千円
固定資産除却費	旧上下浜浄水場解体撤去工事	38,060 千円

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
◎ 水質検査業務	52,352	53,848	△ 1,496
経費内訳			
備用品費	465	手数料	44,914
修繕費	89	印刷製本費	20
光熱燃料費	107	租税課金	7
保険料	27	薬品費	745
委託料	5,978		
【目的】			
安全な水道水を給水するため、水道法に基づく水質検査を実施する。			
【概要】			
適正かつ適切な水質検査を実施し、検査結果を浄水場での運転管理や水質維持に反映する。			
<主な費用>			
委託料	管末毎日水質検査委託		5,567 千円
手数料	水質検査等手数料		44,914 千円

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
◎ 水源かん養業務	1,853	2,112	△ 259
経費内訳			
報酬	60	雑費	1,793
【目的】			
水道水源の水質汚濁を防止し、将来にわたり安全で良質な水道水を安定的に給水できる水源を確保する。			
【概要】			
水道水源保護地域の森林整備を行った場所の育成状況を確認するとともに、保護地域内の不法投棄のパトロールを行う。また、令和2年度も引き続き水源保護啓発看板を設置し、水源保護の必要性について啓発を行う。			
<主な費用>			
雑費	水源保護啓発看板設置 (5か所)		1,650 千円
	啓発パンフレットの作成		107 千円

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
共同施設管理業務	112,662	101,952	10,710
経費内訳			
共同施設管理分担費	112,500	ダム使用料	162
【目的】			
ダム施設を適正に維持管理し修繕工事を行うことで、正常な機能を維持する。			
【概要】			
後谷ダム、正善寺ダム及び柿崎川ダムの維持管理費及び運営費について、県との協定に基づく割合に応じて費用を負担する。令和2年度は老朽化した施設の改修に伴う設計業務委託費が発生するため事業費が増加。			
【後谷ダム】	新潟県 68.9%	上越市 31.1%	
【正善寺ダム】	新潟県 58.8%	上越市 41.2%	
【柿崎川ダム】	新潟県 82.5%	上越市 17.5%	
<主な費用>			
共同施設管理分担費			112,500 千円
ダム使用料			162 千円

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
配水施設維持管理業務	203,201	174,944	28,257
経費内訳			
報酬	5,998	賃借料	2,501
手当	212	保険料	715
法定福利費	1,071	通信運搬費	10,861
備用品費	2,351	委託料	23,997
旅費交通費	282	手数料	914
修繕費	23,739	租税課金	40
動力費	76,946	固定資産除却費	47,308
光熱燃料費	6,266		
【目的】			
安全で安定した給水を行うため、配水施設の点検整備等を行い設備の長寿命化を図る。			
【概要】			
故障履歴、運転時間、設置環境を考慮し適切な時期に点検整備を行い、設備の長寿命化を図る。導管本支管撤去費が増加したことから、前年度に比べ事業費が増加。			
<主な費用>			
修繕費	丹原ポンプ場落雷対策修繕工事		2,805 千円
	南部営業所遠方監視装置設備移設工事		3,685 千円
	南部営業所事務所改修工事		2,437 千円
	残留塩素計点検整備		2,182 千円
動力費	ポンプ場等配水動力費		76,946 千円
委託料	維持管理業務委託		14,897 千円
固定資産除却費	導管本支管撤去工事		47,308 千円

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
水道管修繕業務	167,976	173,195	△ 5,219
経費内訳			
報酬	1,275	修繕費	163,249
手当	45	光熱燃料費	1,251
法定福利費	224	保険料	335
備用品費	1,241	印刷製本費	143
旅費交通費	68	租税課金	145
<特定財源>			
その他雑収益	21,146		
【目的】			
水道管の漏水及び給水に係る事故の未然防止と拡大防止を図る。			
【概要】			
漏水箇所を調査により特定し迅速に修繕することで、安定した給水を維持する。			
<主な費用>			
修繕費	責任修繕工事委託	94,609 千円	
	責任修繕工事舗装本復旧	24,579 千円	
	補償修繕工事委託	21,380 千円	
	架管修繕工事委託	1,430 千円	
	広域施設送水管修繕工事委託	14,301 千円	

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
水道メーター取替業務	62,538	69,672	△ 7,134
経費内訳			
報酬	1,275	光熱燃料費	80
手当	45	保険料	29
法定福利費	224	通信運搬費	634
備用品費	86	委託料	28,806
旅費交通費	35	印刷製本費	158
修繕費	31,166		
【目的】			
計量法に基づき、検定満期を迎える水道メーターを取り替える。			
【概要】			
令和2年度に検定満期を迎える水道メーターを取り替える。			
<主な費用>			
修繕費	取替用水道メーター（予定数10,286個）	30,704 千円	
委託料	取替業務委託	28,806 千円	

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
受注工事業務	2,528	2,803	△ 275
経費内訳			
備用品費	302	賃借料	443
修繕費	520	委託料	1,263
<特定財源> 受注工事収益		445	
【目的】 安全で安定した給水を行うための給水装置工事の施工に係る管理を行う。			
【概要】 申込みのあった給水装置工事の設計審査及び竣工時の検査を実施するとともに、適正な施工となるよう指定工事業者に対して指導・監督を行う。 <主な費用> 賃借料 受付システムリース料 443 千円 委託料 工事受付システム維持管理費 1,263 千円			

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
◎ 漏水調査業務	3,535	3,924	△ 389
経費内訳			
委託料	3,535		
【目的】 漏水調査により、突発的な断・減水などの事故を未然に防ぐとともに、有収率の維持向上を図る。また、施設の運転負荷を軽減し経費の削減を図る。			
【概要】 水道使用量検針時に合わせて漏水調査を実施し、漏水の発見・修理を行うことにより有収率の向上を図る。 <主な費用> 委託料 戸別音聴調査業務委託（24,598戸） 2,710 千円			